

二川南小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・当校は、「ぼくたち わたしたちのまち ふたなん ～地域で学び、地域とともに生きるみなみっ子～」を活動のテーマとし、ESDを地域連携と捉え、地域に密着した学習を行う中で、人との関わりやつながりを尊重できる子どもを育むことを目標とした。
- ・具体的には、①地域の環境を守り地域に親しむ活動、②地域の歴史と文化にふれる活動、③野菜作りを通して地域を知る活動を行った。

・活動の実際

① 荒田池ドリームプロジェクト ネーチャーランドであそぼう（全校）

校舎に隣接した荒田池や果樹園では、池に生息する生き物を見つけたり、野菜を栽培したりして、自然に親しむ活動を行っている。

2年生では、地域に住む「野菜作り名人」を招聘し、サツマイモづくりを行った。クラブ活動では、毎年クラブボランティアさんといろいろな野菜づくりに挑戦している。本年度もサツマイモの栽培を行った。

本年度も5年生が中心となり「プロジェクトA」と称して、いろいろな活動を推進してきた。荒田池ボランティアのかたを招聘し、荒田池ができた理由などの話を伺った。そこで、池をもつ学校は、豊橋の中でも二川南小学校だけということに気づくことができた。荒田池をもっとみんなが楽しく活動したり、学習したりすることができるように夢のある活動場所したいと考えた。今後は、池の周りを美しくするためには、自分たちで何ができるかと考え、新たな荒田池のリニューアル計画を進めている。

② ふたなん歴史とことん調査隊（6年）

地域の歴史や文化を調べ、地域への理解を深めようと、二川宿本陣資料館を見学した。また、4年ぶりに開催された「二川本陣まつり」にも参加した。江戸時代からの続く、二川地区の様子を知り、自分の住む町の特徴を知るよい活動になっている。



本陣資料館の見学

③ めざせ野菜作り名人（3年）

地域に住む野菜作り名人をゲストティーチャーとして招聘し、キャベツなどの野菜の育て方を学んでいる。そして、提供していただいた畑で野菜の世話をしながら、野菜を育てる楽しさや苦労を実感し、収穫する喜びを味わっている。



ゲストティーチャーの話を聞いている様子